

国外への潮位データのリアルタイム提供開始について

気象庁では国際的な津波防災に資するため、現在国内6地点の潮位データをリアルタイムで国外に提供していますが、新たに16地点を追加し、計22地点の潮位データのリアルタイム配信を開始します。

WMO^{※1}/IOC^{※2} 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) の下で長期的な海面水位観測の全球ネットワーク構築を進めてきた全球海面水位観測システム (GLOSS) は、平成16年12月26日のインド洋大津波の後、国際的な津波防災に資するため、リアルタイムでの国際的な潮位データ交換を促進してきました。現在 GLOSS では、主要潮位観測ネットワーク (GLOSS Core Network、現在、全世界で289地点が登録) に登録された観測点のリアルタイムでの国際的な潮位データ交換を進める方針を掲げています。同ネットワークに登録されている気象庁の観測点14地点のうち、2地点については既にリアルタイム配信していますが、今般、残りの12地点についても本年3月22日(木)からリアルタイム配信を開始することとします。

また、平成22年11月に開催された地震災害軽減に関する気象庁、中国地震局、韓国気象庁による長官会合(第5回)における合意(潮位データ等の交換の推進)に基づき、日本海沿岸の潮位観測点4地点についても同時に配信を開始する予定です。

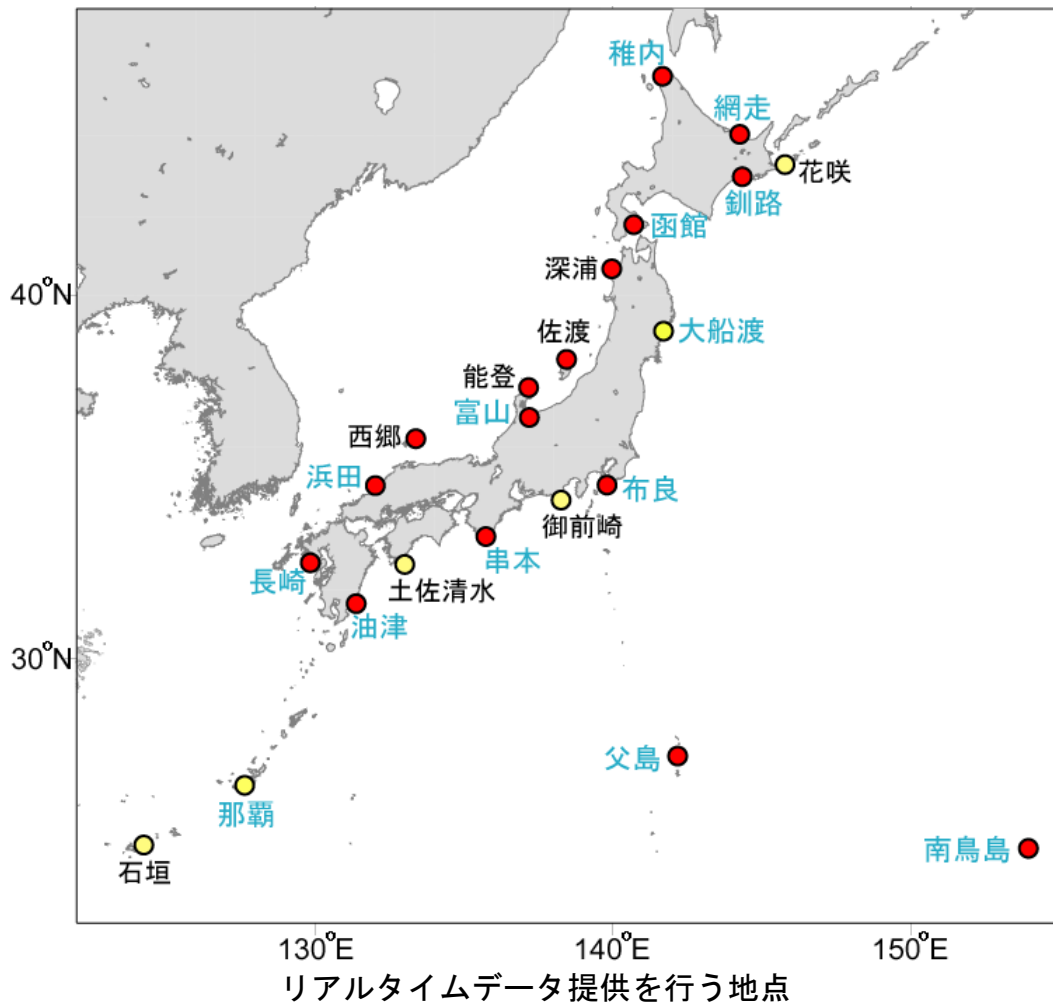
これらにより、既にリアルタイム配信されている6地点に、今般新たに配信を開始する16地点を合わせ、気象庁から計22地点の潮位データをリアルタイム配信することになり、国際的な津波防災により貢献します。

※1 世界気象機関 (WMO: World Meteorological Organization)

※2 ユネスコ政府間海洋学委員会 (IOC: Intergovernmental Oceanographic Commission of UNESCO)

本件に関する問い合わせ先:

地球環境・海洋部海洋気象情報室	03-3212-8341 (内線 5154)
地震火山部地震津波監視課	03-3212-8341 (内線 4552)



- : 新たに GTS 回線を通じてリアルタイム潮位データを提供する地点
- : 既に GTS 回線を通じてリアルタイム潮位データを提供している地点
- 青字 : GCN 登録地点